

県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

明日は我が身と思い、災害時には
困った人のために施設を開放したい

社会福祉法人 泉の森

1☆2 SUKUSUKU（小規模保育園）

富士見市

太陽光発電設備等の設置日 2020年12月



Q 施設の概要を教えてください。

A 当園は、きたはら学園グループが運営する2019年4月開園の1歳・2歳を対象とした小規模保育園です。定員は19名ですが、現在16名の園児の保育を実施しています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 地域に根差した社会福祉施設なので、災害時に地域の方のお役に立てればと思い応募しました。また、保育園開園時、いずれ太陽光発電設備を設置しようと考えていたため、太陽光発電が設置できる形状の屋根にしていました。



平岡 一夫 事務長

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 最近では地震だけでなく、台風による停電も多いので、いざというときに蓄電池があると安心です。また、近くには河川の氾濫により浸水する区域もあるので、少し高台にある保育園でいざという時に電源が使えることは地域住民にとっても備えになると思います。

Q 自然環境に親しむために、子供たちとどのような活動をしていますか。

A 学園の教育方針の一つが「何事も体験して学ばせる」なので、季節の野菜を育てたり、田植えや稲刈りを行ったりしています。また、園外保育では秋ヶ瀬公園に行くこともあります。

今回、太陽光発電を付けたので、太陽光と電気の絵本を読み聞かせるなどして、節電や省エネ意識を持たせて行きたいと思います。

Q 災害時に施設を開放することに不安はありませんか。

A 普段、保育園では不審者の侵入や子どもの飛び出しに注意して、施錠を二重にするなどの安全確保を徹底しています。しかし、もし自分が被災した時に、普段見知った近隣の施設が開放されていて、しかも電源を使わせてもらえるならとても有難いと思います。明日は我が身という言葉もありますし、いざという時には施設を開放し、地域の方のお役に立てればと考えています。